

## ◀ 画像ページの見かた ▶

- 各章は部位と撮像法によって分類されています
- 左ページには正常画像を配置し、主な構造の名称を列挙しました

### 左ページ：正常画像

★章タイトル(部位および撮像法)

第1章 頭部 A) 頭部CT

10 脳腫瘍 (ドレナージ)

正常

★疾患名や  
治療法

★正常画像

★構造部位の名称  
(画像上の番号と対応)



- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| ① 大脳鎌 (falx cerebri)                     | ⑥ 上矢状洞 (superior sagittal sinus)   |
| ② 帯状回 (cingulate gyrus)                  | ⑦ 脳梁膨大部 (corpus callosum splenium) |
| ③ 側脳室体部 (body of lateral ventricle)      | ⑧ シルビウス裂 (sylvian fissure)         |
| ④ 脈絡叢 (choroid plexus)                   | ⑨ 上前頭回 (superior frontal gyrus)    |
| ⑤ ガレン大脳静脈 (great cerebral vein of Galen) |                                    |

46 正常画像と並べてわかる 救急画像 改訂版

正常画像と病変画像の時間経過を見開きで比べるから、  
いつ、どこが、なぜ異常なのかすぐにわかる!

- 右ページには左ページと同じような断面で、病変のある画像を時間経過で並べ、病変部位を矢印や矢頭で示しています。インデックスは疾患別の分類を表しています

## 右ページ：病変のある画像

経時の変化 50歳男性

1 初診時 → 2 7日後 → 3 14日後 → 4 28日後

**所見** 1 左前頭葉に造影効果を認めないlow density areaを認めます(★)。mass effect\*が強く、左右の側脳室が圧排され(→)正中偏位も認めます(→)。また、外傷後であり左前頭骨が除去されています(→)。2 左前頭葉のmassがリング状に造影効果を認めます(→)。それに接してリング状には造影されないlow density areaを認め(★)挫傷の吸収過程と思われます。3 腫瘍は2より縮小しています(→)。腫瘍の正中側の強く造影される外縁は大脳鎌です(→)。4 スライスが多少異なりますが腫瘍は3よりさらに縮小しています(→)。

mass effect\*

● 頭部 47

疾患別の分類

- ★疾患別分類のインデックス
- ★病変画像の経時の変化 (1 → 2 → 3 → 4の順)
- ★病変の位置 (←や▶などで指示)
- ★各画像の時間経過
- ★画像ごとの所見のポイント

頭部外傷  
脳血管  
胸部外傷  
腫瘍  
疾患一般  
腹部外傷  
消化器  
泌尿生殖器  
四肢外傷  
感染症  
その他

★重要語句は太字で\*印がついており、巻末に用語解説あり